

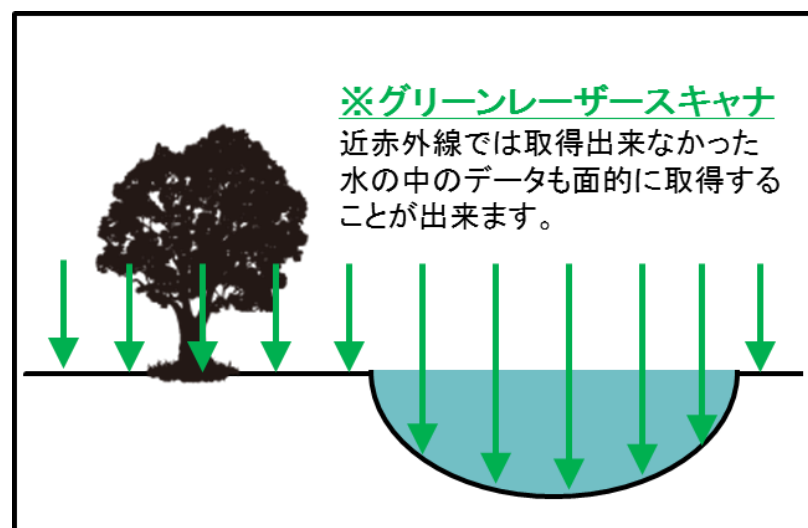
陸上・水中レーザードローン(概要)

【目的】

航空レーザー測量で行っていた三次元データ取得を、「陸上・水中レーザードローン」を開発することで、災害時などに効率的かつ迅速に計測するなど、河川管理の高度化を図る

【特徴】

- **陸上と水中を同時に面的に計測可能**(1チーム)
- 従来の航空レーザー測量システムで使用する**グリーンレーザーสキャナ**※を大幅に**軽量・小型化**(1チーム)
- **ドローンへの搭載が可能**となり、被災箇所など限定的な範囲を**効率的かつ迅速に計測可能**
- **持ち運びが容易**なため、配備された河川だけでなく、**被災地域への応援でも効果を発揮**



グリーンレーザーสキャナによる計測イメージ

【現状及び今後の予定】

- 開発2チーム(6者)により機器開発完了。機器特性をとりまとめ公表。
- 順次、**各地方整備局等で実装**

参加チーム・企業グループ(順不同): 2企業グループ

①(株)アミューズワンセルフ・(株)パスコ、②(一財)河川情報センター・朝日航洋(株)・アジア航測(株)・ルーチェサーチ(株)